

令和6年度 今治市野間馬ハイランド指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市野間馬ハイランド
所在地	今治市野間甲8番地
指定管理者	<p>名称 野間馬保存会</p> <p>代表者 会長 小澤 剛</p> <p>住所 今治市阿方甲246番地1</p>
モニタリングの実施方針・方法等	<p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p>
担当部課(問合せ先)	<p>総合政策部 交流振興局 観光課</p> <p>TEL : 0898-36-1541</p> <p>E-mail : kankou@imabari-city.jp</p>

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	A	施設の設置目的である「野間馬の保存育成及び活用を図る」ため、管理運営の基本方針を十分理解して指定管理者業務を実施しました。	A	適正に業務が実施されており、平等な利用の確保や施設の設置目的に沿った管理運営がなされている。
利用状況	B	夏の猛暑や、乗馬できる馬の高齢化により、多くのお客様を乗せることができませんでした。利用者は、昨年の約97.8%となりましたが、1年を通して来園者はおり、特に1月、2月の河津桜の時期は観光バスが連日たくさん入って賑わいました。	B	高齢になっている野間馬の体調管理を優先して、主要事業である乗馬体験を縮小したことで、利用者が減少したことは理解できる。今後は乗馬以外にも集客できる事業の開発に努めていただきたい。
事業収支	A	野間馬保存会の経理に関しては、越智今治農業組合乃万営農センター長が担当しており、会計帳簿の整理や会計伝票の作成、印鑑の管理などを適切に行っています。また、収支計画に基づいて予算執行を行い、今年度も今治市から飼料価格高騰に対する補助金があったため、スムーズな施設の管理運営をすることができました。	A	令和6年度も飼料価格の高騰が継続したため、市からの補助金によって業務の実施を支援したが、各種団体からの助成金も積極的に活用していることは評価できる。今後も物価高騰は続くことが想定されるが、野間馬の飼育を第一に考え、経費削減及び計画的な予算執行に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営体制	A	維持管理業務について一定水準の取り組みを行いました。今年度は派遣研修に参加できませんでしたが、組織内研修では削蹄の技術研修や植栽管理の技術向上を図りました。	B	業務の運営に支障の無いようローテーションを組み、組織内研修において削蹄や植栽管理の技術向上を図ったことは評価できる。しかし、職員数が不足していることが、職員の負担増になっていないか心配であるため、職員の補充に努めていただきたい。
管理運営業務	A	管理業務については、管理基準に則り業務に取り組んでいます。特に植栽管理及び清掃管理業務については、職員全員で積極的に取り組んでおり、管理運営の基本方針にあるとおり、清潔感のある人の目が行き届いた公園の管理を行いました。	A	職員一丸となって公園を管理しており、いつも手入れが行き届いていることは高く評価できる。当施設は公園利用としての利用者も多いことから、来園者にとって憩いの場となるよう、今後も公園管理を徹底していただきたい。
利用業務	B	施設の利用調整・受付等の業務に当たっては、関係法令及び仕様書等に基づき、公平公正に実施しました。また、利用促進に関する業務については、ちびっこのまうま祭りが5年ぶりに開催でき、PR活動にも積極的に取り組みました。また、無料の観光雑誌に情報掲載、撮影や取材対応、ホームページで更新の頻度をあげて野間馬ハイランドを紹介する様に努めました。	B	高齢になっている野間馬の体調を考慮し、例年9月に実施していたちびっこのまうま祭りを10月下旬に開催したこと、無料広告への掲載やメディア等への取材対応を積極的に受け入れたことは評価できる。今後はSNSを積極的に活用して、施設のPRを図っていただきたい。
飼育管理業務	A	鹿児島大学や岡山理科大学、日本馬事協会等の専門機関と連携し、野間馬の繁殖に努めました。また、岡山理科大学には、採血等による健康管理や仔馬の死亡原因究明のため死亡馬の解剖を依頼しました。馬にストレスが少なく健康に生活できる環境を考慮して、飼育・繁殖に取り組む、頭数を維持するように努めました。	A	市指定文化財である野間馬の頭数維持のため、専門機関と連携した健康管理などの各取組に対する体制ができつつある。今後も計画的な繁殖や利活用馬の調教などの課題に対して、種の保存と利活用のバランスを考慮しつつ、専門機関の知見を取り入れることにより、解決できる体制の構築を図っていただきたい。
その他業務	B	来園者が安全に快適に当施設を楽しめるように、防災マニュアルの定期的な確認や、受動喫煙防止に努めました。また、休日にのみ乗馬を実施し、平日は馬を休ませるように運営することで、乗馬できる馬が高齢化している中で、できるだけ多くの方に乗馬体験をしてもらえるように取り組みました。さらに、アンケートを実施することで、セルフモニタリングを実施して改善に取り組みました。	B	全職員が防災マニュアルを理解するための定期的な確認や、アンケートによる利用者意見の収集などの取組により、当施設が安心・安全に運営できたことは高く評価できる。今後も安全管理に努め、種の保存を優先して、施設の適切な運営に努めていただきたい。
修繕業務	A	施設の老朽化等による修繕や部品の交換を実施しました。今後も来園者の安全管理や、衛生管理に重点を置いて必要な修繕の実施に取り組めます。	A	当施設は老朽化が進んでいる部分が多くなってきているが、積極的に修繕を実施してもらえたことは評価できる。今後も予算の状況を見ながら臨機応変に対応していただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
備品管理業務	A	今年度は来園者の安全管理や公園の植栽管理に必要な備品の購入を行いました。また、既存物品については点検を行いながら、適切に使用しました。	A	各種団体の補助金を活用した備品の購入や、適切な利用方法による備品の管理ができている。引き続き、備品の適正な購入及び管理をお願いしたい。
自主事業	B	自主事業として、毎月任意の1日を「のまうまの日」とし、乗馬料を1人につき1回免除にする「のまうまの日(無料体験乗馬)」の実施、野間馬クラブの活動や野間馬ハイランドの近況等を掲載し、「のまうま新聞」の発行を行いました。	B	定期的な自主事業の実施により、野間馬のPRに努めている。今後は新たな自主事業の開発に取り組み、利用者が増えるよう努めていただきたい。
地域団体との連携	A	市内教育機関の遠足や職場体験、今治市立乃万小学校の総合学習や野間馬クラブの受け入れ、地域清掃活動への積極的な参加や地域活動への場所の提供などを通じて、地域団体と良好な関係を築きました。	A	市内教育機関の職場体験の受け入れや、地元小学校との連携について評価できる。今後も地域との連携が途絶えることのないよう、良好な関係の維持を図っていただきたい。
利用者アンケート	A	アンケート結果については、ほぼ満足いくものでした。また、アンケート結果を基に、日々のミーティングにおいて利用者のさらなる満足度向上に向けて取り組みました。また、入園料や駐車場が無料であることが、満足度の高評価につながっており、施設の改善要望については可能な限り対応しました。	A	施設に対して好印象であるとするアンケート結果が多く評価できる。今後も利用者満足度の高水準を維持し、利用者意見については早期対応をお願いしたい。
事故・苦情	A	事故・故障については、何事もなかったが、慢心することなく今後も継続して入園者の安全確保に努めます。また、苦情や要望については、朝礼・終礼のミーティングにおいて職員全員で情報共有を図り、迅速に丁寧な対応に取り組みました。	A	事故の発生がなく、施設を安全に運営できたことは評価できる。万が一の状況を想定し、職員間で適切な対応が取れるよう、引き続き情報共有できる体制の構築に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態			事業報告書を確認した結果、指定管理者として適切な管理運営が実施できていると認められた。	

## 総合コメント(市)

指定管理者である野間馬保存会は、今治市野間馬ハイランド条例及び施行規則並びに業務仕様書に基づき、施設の特徴を踏まえた管理運営に努めており、指定管理業務は適正に実施されていると認められた。

今年度も高齢になっている野間馬の体調を考慮して、夏場の乗馬体験の縮小や、5年ぶりのちびっこのまうま祭りを10月下旬に開催するなど、市指定文化財である野間馬の種の保存を優先して、管理運営を行なったことは評価できる。

今後も鹿児島大学や岡山理科大学、日本馬事協会等の専門機関と連携し、野間馬の種の保存と観光資源としての野間馬の利活用のバランス調整に努めていただきたい。